



ヘンドロ・プディ・スラハマンさん

プロフィール

1991年、インドネシア生まれ。周囲の影響で7歳のときにバドミントンを始める。チャンドラさんと同じ町の出身で、子どもの頃はチャンドラさんから指導を受けていた。2006年、中学生のときに男子ダブルスで優勝。2010年男子ダブルス準優勝、2012年男子ダブルス優勝と好成績を残す。チャンドラさんと岐阜県東海女子チームの尾藤伸治監督とが設立したバドミントンアカデミー「CBBA」のコーチングスタッフとして、インドネシアで選手の育成に励んでいた。2022年4月、白糠町スポーツ国際交流員（SEA）として着任。



夢があるから一歩ずつ前進できる。オリンピックを目指すなら、いま頑張ろう！夢に向かって100%全力で努力するなら、喜んで指導するよ。



マデ・チャンドラ・ベラタさん



ヘンドロさんが指導者に加わり、ますます充実した練習ができるようになりました。

「白糠をバドミントンの町に」をスローガンに、町技バドミントンの振興が進んでいます。牽引するのは2019年からスポーツ国際交流員（SEA）としてインドネシアより着任しているマデ・チャンドラ・ベラタさん。インドネシアはバドミントンの強国としても知られ、チャンドラさんもオーストラリアで開催されたスポーツの祭典「アラフラゲームズ」において、シングルスとダブルスで金メダルを獲得するなど、選手として華々しい成績を残しています。一方、指導者としてもコーチン

グ技術を学び、カンボジアのナショナルチームでヘッドコーチを務めた経験があります。現在は、チャンドラさんの弟子にあたるヘンドロ・プディ・スラハマンさんをインドネシアから招き、2人体制でバドミントンの指導に当たっています。バドミントンの経験がないような初心者への指導はヘンドロさんが、トップレベルを目指す選手への指導はチャンドラさんが行っています。初心者はゲーム感覚でフットワークを養うなど、楽しみながら基礎能力を身に付けていきます。トップを目指す選手には、チャンドラさんがフィジカル（体力）やテクニカル（技術）、マッチ플레이（試合）の練習メニューを組み立て、食事の内容などライフスタイルまでも指導しています。白糠町では、チャンドラさんとヘンドロさんを軸に、全道大会はもちろん、全国大会に出場できるような選手を育成していきます。今後は町内に限らず、全国から希望者を募った練習なども考えていきますので、バドミントンでトップレベルの選手になりたいのなら、白糠町がその夢を応援します。



① 左は松下一誠君（中央）の父親でバドミントンの指導者でもある勝至さん。右はスポーツ国際交流員のヘンドロさん。② 一誠君の両親と祖父母。③・④・⑤ 優勝パレードを盛り上げた白糠駒踊り音頭保存会と白糠駒踊り保存会、鉦路太平洋太鼓保存会の皆さん。

松下一誠君 2大会連続の全国優勝

熊本県で今年8月に開かれたバドミントンの第23回ダイハツ全国小学生ABC大会で、松下一誠君（白糠学園6年・スパークージュニア所属）が、昨年12月の大会に続き、2大会連続で全国優勝を果たしました。9月29日（木）の11時30分から白糠町内で優勝パレードが開かれ、松下君やご家族の皆さんが多くの町民から祝福を受けました。パレード終了後、松下君は「全国優勝できたのは、皆さんの温かい声援と日頃から練習に協力してくださっている関係者の方々のおかげです」と感謝し、「今年の12月には、昨年優勝することができた全国小学生バドミントン選手権大会が石川県でありますので、連覇できるようにこれからも一生懸命全力で頑張りますので、応援よろしく願います」と力強く語りました。松下君をはじめ、町内で頑張っているバドミントン選手たちのさらなる活躍を期待しています。